

## 第 22 回九州実験動物研究会総会プログラム

日時：2004 年 11 月 6 日（土）午前 10 時から

会場：宮崎市 宮崎カリーノ 8 階ガガエイト

### プログラム

10:00 受付開始

10:30 開会の辞 研究会会長 佐藤 浩（長崎大学）

10:40 一般口演 1

1. 医用ミニブタを用いた N PO 内視鏡手術講習会における実験動物研究分野の役割

○小原 徹，福山伸隆，瀬戸山健太郎，上村亮三，高尾尊身

鹿児島大学生命科学資源開発研究センター

2. マウス腎臓の組織構造に対する下顎腺摘出の影響

○加藤隆志，矢吹 映，松元光春，鈴木秀作

鹿児島大農農学部家畜解剖学教室

3. 実験動物の腎臓の種差に関する形態計測学的研究

○市居修，小嶋敏慶，矢吹映，松元光春，鈴木秀作

鹿児島大農農学部家畜解剖学教室

4. 麻酔薬のラット血糖値への影響

○村中清志<sup>1)</sup>，原田留美<sup>1)</sup>，佐加良英治<sup>2)</sup>

(株) ケー・エー・シー<sup>1)</sup>，九州歯科大 動物実験施設<sup>2)</sup>

11:20 一般口演 2

5. GFP 遺伝子の発現を指標としたコットラットモデルによる麻疹ウイルス感染経路解析の試み

○清水佑也<sup>1)</sup>，村山丹穂<sup>1)</sup>，篠原明男<sup>2)</sup>，越本知大<sup>2)</sup>，佐藤 浩<sup>3)</sup>，駒瀬勝啓<sup>4)</sup>，

中山哲夫<sup>4)</sup>，後藤義孝<sup>1)</sup>，三浦智行<sup>5)</sup>，芳賀 猛<sup>1)</sup>

宮崎大学 獣医 家畜微生物<sup>1)</sup>，宮崎大学 フロンティア研究センター<sup>2)</sup>，

長崎大学 先端科学 研究センター<sup>3)</sup>，北里生命科学研究所<sup>4)</sup>，京都大学 ウイルス研究所<sup>5)</sup>

6. ヒヘルペスウイルス OUI-76 株の遺伝子解析ー UL 領域について ー

○大沢一貴<sup>1)</sup>，枝川 愛<sup>2)</sup>，大沢牧子<sup>1)</sup>，渡邊洋二<sup>1)</sup>，佐藤 浩<sup>1)</sup>

長崎大 先端生命科学研究支援センター 動物実験施設<sup>1)</sup>，長崎大 医学部 医学科<sup>2)</sup>

7. 組換え DNA 狂犬病ワクチンの有効性について

○万年和明，田中聖一

大分大学 総合科学研究支援センター

8. アセチルコリンによる潜伏オーエスキー病ウイルス再活性化機序の解明に向けて

○田中聖一, 万年和明

大分大学 総合科学研究支援センター

12:00 昼食

13:00 特別講演 「胚の膜透過性と水チャンネルー耐凍性に関するタンパク質ー」

枝重圭祐 高知大学農学部 生物資源科学科 遺伝資源開発学

14:00 一般口演 3

9. 齧歯類の胃底におけるグレリン産生細胞について

○小嶋敏慶<sup>1)</sup>, 市居修<sup>1)</sup>, 矢吹映<sup>1)</sup>, 松元光春<sup>1)</sup>, 御船弘治<sup>2)</sup>, 児島将康<sup>3)</sup>, 鈴木秀作<sup>1)</sup>

鹿児島大 農 家畜解剖<sup>1)</sup>, 久留米大 医 実験動物<sup>2)</sup>, 久留米大 分子生命科学 遺伝情報<sup>3)</sup>

10. マウス移植乳腺におけるPSPの局在に関する免疫組織化学的研究

○井原麻里子<sup>1)</sup>, 松元光春<sup>1)</sup>, 岡 達三<sup>2)</sup>, 矢吹 映<sup>1)</sup>, 鈴木秀作<sup>1)</sup>

鹿児島大学 農 家畜解剖<sup>1)</sup> 家畜生理<sup>2)</sup>

11. F344/N ラット歯牙の形態学的観察法

○田中 慎<sup>1)</sup>, 曾根 啓子<sup>1)</sup>, 角 保徳<sup>2)</sup>

国立長寿医療センター加齢動物育成室<sup>1)</sup>, 先端医療部口腔機能再建科<sup>2)</sup>

12. 有害獣として捕獲されたヌートリア *Myocastor coypus* の歯と頭蓋の形態異常

○曾根啓子<sup>1) 2)</sup>, 子安和弘<sup>3)</sup>, 織田銃一<sup>2)</sup>, 田中慎<sup>1)</sup>

長寿医療センター 加齢動物育成室<sup>1)</sup>, 名大 院 生命農 動物管理<sup>2)</sup>, 愛知学院 歯 解剖学第二<sup>3)</sup>

14:40 一般口演 4

13. 導入遺伝子過剰発現系ヒトプリオン病モデルマウスの評価

○松浦裕一<sup>1)</sup>, 毛利資郎<sup>1)</sup>, 石川有紀子<sup>1)</sup>, 藤田幸辰<sup>1)</sup>, 北本哲之<sup>2)</sup>

九州大学 院医 実験動物分野<sup>1)</sup>, 東北大学 院 プリオン蛋白研究部門<sup>2)</sup>

14. 遺伝子導入ヒトプリオン病モデルマウスにおける内因性遺伝子の影響

○石川有紀子<sup>1)</sup>, 毛利資郎<sup>1)</sup>, 松浦裕一<sup>1)</sup>, 藤田幸辰<sup>1)</sup>, 北本哲之<sup>2)</sup>

九州大学 院医 実験動物分野<sup>1)</sup>, 東北大学 院 プリオン蛋白研究部門<sup>2)</sup>

15. ヒトプリオン接種後のモデルマウスの臨床症状

○藤田幸辰<sup>1)</sup>, 毛利資郎<sup>1)</sup>, 松浦裕一<sup>1)</sup>, 石川有紀子<sup>1)</sup>, 北本哲之<sup>2)</sup>

九州大学 院医 実験動物分野<sup>1)</sup>, 東北大学 院 プリオン蛋白研究部門<sup>2)</sup>

16. クラウン系ミニブタにおける Swine Leukocyte Antigen(SLA)純系の確立について

○三吉由佳里<sup>1)</sup>, 山本松男<sup>2)</sup>, 岩永健裕<sup>1)</sup>, 菅野正美<sup>1)</sup>, 鳥取潤一<sup>1)</sup>, 藤吉利信<sup>2)</sup>,

松原修一郎<sup>2)</sup>, 中西喜彦<sup>1)3)</sup>, 高尾尊身<sup>2)</sup>

(株) ジャパンファーム クラウン研究所<sup>1)</sup>, 鹿児島大学生命科学資源開発研究センター  
医用ミニブタ研究分野<sup>2)</sup>, 鹿児島大学地域共同研究センター<sup>3)</sup>

15:20 休憩 (評議員会)

15:50 「賛助会員トピックス」

A. 安全性評価としての Real Time-3D Echocardiography によるカニクイザルの心臓左室容積及び収縮機能の測定

○玉井朝子<sup>1)</sup>, 与那嶺春乃<sup>1)</sup>, 吉川哲也<sup>1)</sup>, 下本睦子<sup>2)</sup>, 角崎英志<sup>1)</sup>, 永田良一<sup>1)</sup>, 鬼頭 剛<sup>1)</sup>

(株) 新日本科学 安全性研究所<sup>1)</sup>, フィリップスメディカルシステムズ (株)<sup>2)</sup>

B. Kbt:JW, NZW, Dutch ウサギおよび生産システムの紹介

○右近佳浩

(株) ケービーティールオリエント

16:20 合同企画シンポジウム「生命科学における新しい実験動物の可能性」

1. 高脂血症モデルとしての自然発症高コレステロール血症マウスの有用性

○伊藤 薫<sup>1)</sup>, 越本知大<sup>2)</sup>, 篠原明男<sup>2)</sup>, 土屋公幸<sup>3)</sup>, 伊藤勝昭<sup>4)</sup>

南九州大 健康栄養 栄養<sup>1)</sup>, 宮崎大 フロンティア科学実験総合センター<sup>2)</sup>,

東京農大 農 野生動物<sup>3)</sup>, 宮崎大 農 家畜薬理<sup>4)</sup>

2. 麻疹小動物モデルとしてのコットラットの可能性

○芳賀 猛<sup>1)</sup>, 村山丹穂<sup>1)</sup>, 清水佑也<sup>1)</sup>, 篠原明男<sup>2)</sup>, 越本知大<sup>2)</sup>, 佐藤 浩<sup>3)</sup>, 駒瀬勝啓<sup>4)</sup>,

中山哲夫<sup>4)</sup>, 内田和幸<sup>5)</sup>, 後藤義孝<sup>1)</sup>, 三浦智行<sup>6)</sup>

宮崎大学 獣医 家畜微生物<sup>1)</sup>, 宮崎大学 フロンティア研究センター<sup>2)</sup>,

長崎大学 先端科学研究センター<sup>3)</sup>, 北里生命科学研究所<sup>4)</sup>, 宮崎大学 獣医 家畜病理<sup>5)</sup>,

京都大学 ウイルス研究所<sup>6)</sup>

3. 日内休眠：動物実験における二つの可能性

森田哲夫

宮崎大学 農学部 食料生産科学科

17:20 研究会総会

19:00- 懇親会 (ホテルメリージュ)

19:30- ポスター発表

1. 森林の香り (フィトンチッド) は SHRSP の拘束ストレスを軽減した

○川上浩平<sup>1)</sup>, 河本 舞<sup>1)</sup>, 三原安経<sup>2)</sup>, 権田辰夫<sup>1)</sup>, 野村正人<sup>3)</sup>, 大谷 浩<sup>1)</sup>  
島根大 実験動物分野<sup>1)</sup>, フィトンタオ 118<sup>2)</sup>, 近畿大 工<sup>3)</sup>

2. ENU ミュータジェネシスからの変異遺伝子とコンピュータネットワーク構築の融合

○後藤 元人<sup>1)</sup>, 喜田 裕一郎<sup>1)</sup>, 金子 武人<sup>2)</sup>, 新名谷 典朗<sup>1)</sup>, 中潟 直己<sup>2)</sup>  
(株)スポック<sup>1)</sup>, 熊本大学 CARD 資源開発分野<sup>2)</sup>

3. 環境条件悪化が実験用ジャービル三種の体温調節に及ぼす影響

○畑瀬美穂子<sup>1)</sup>, 井上文太<sup>2)</sup>, 越本知大<sup>3)</sup>, 森田哲夫<sup>2)</sup>,  
宮崎大学 院 医学研究科<sup>1)</sup>, 農学部食料生産科学科<sup>2)</sup>, フロンティア科学実験総合センター<sup>3)</sup>